

複数の手がかりから人物を読む

図解 | 小説文読解の読み方

変わったことと、まだ残る気持ちを分けて捉えよう

人物の心情、関係の変化、語りや情景の効果を、本文の複数の根拠から読み取る32問です。

1 事実を拾う

会話・動作・情景を場面ごとに整理

2 結び付ける

前後の変化や、繰り返される表現を比較

3 範囲を守る

根拠から言える心情・効果を説明

短い文章で確かめよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

- ① 文化祭の片付けで、杏は失敗した看板を裏返した。葵に「持って帰る？」と聞かれても、「紙の無駄になるよ」と答えた。
- ② 葵は看板の角に書かれた二人の小さな下書きを見つけ、「ここから大きく描いたんだね」と言った。杏は看板を表に返した。「端だけ、切って残そうかな」

推測と断定を分ける

人物の動作は、いくつかの気持ちを示すことがあります。前後の言葉を合わせて判断し、本文にない事情や約束を補わないようにします。

表現の効果は本文に戻す

「比喻で印象的」だけで終えず、何をどう見せ、人物や関係の理解にどう働くかを書きます。情景が心情を必ず表すわけではありません。

根拠をつないで説明する

例題 | 学習ポイント1ページの文章を使います

例題

杏が看板を表に返したのは、看板の捉え方がどう変わったためですか。40字以上60字以内で説明しなさい。

答えに必要な内容を整理する

- ① 初めの評価：「失敗」「紙の無駄」。
- ② きっかけ：葵が二人の下書きに目を留める。
- ③ 再評価：完成品の出来だけでなく、作った過程を見る。

解答例

失	敗	し	て	無	駄	に	な	っ	た	物	と	見	て	い	た	が	、	葵	の	20
言	葉	で	二	人	が	作	っ	た	過	程	に	も	気	付	き	、	そ	の	一	40
部	は	残	し	た	い	と	感	じ	た	か	ら	。								60

〔53字〕 字数だけでなく、必要な内容がそろっているか確かめよう。

ここに注意

「看板を全部大切にするようになった」は言い過ぎです。「端だけ」に注意すると、失敗への気持ち完全に消えたわけではないと分かります。

読み直すときのチェック

- ☐ 問いが求めている人物・場面・内容に答えたか。
- ☐ 本文の言葉を根拠にし、想像だけで決めていないか。
- ☐ 「必ず」「全部」など、本文より強く言い切っていないか。
- ☐ 字数・抜き出し範囲・指定された言葉を守ったか。

字数には句読点・かぎカッコ・小さい仮名も一字ずつ数えます。段落番号は数えません。記述は指定範囲を守り、抜き出しは本文の表記のまま答えます。